

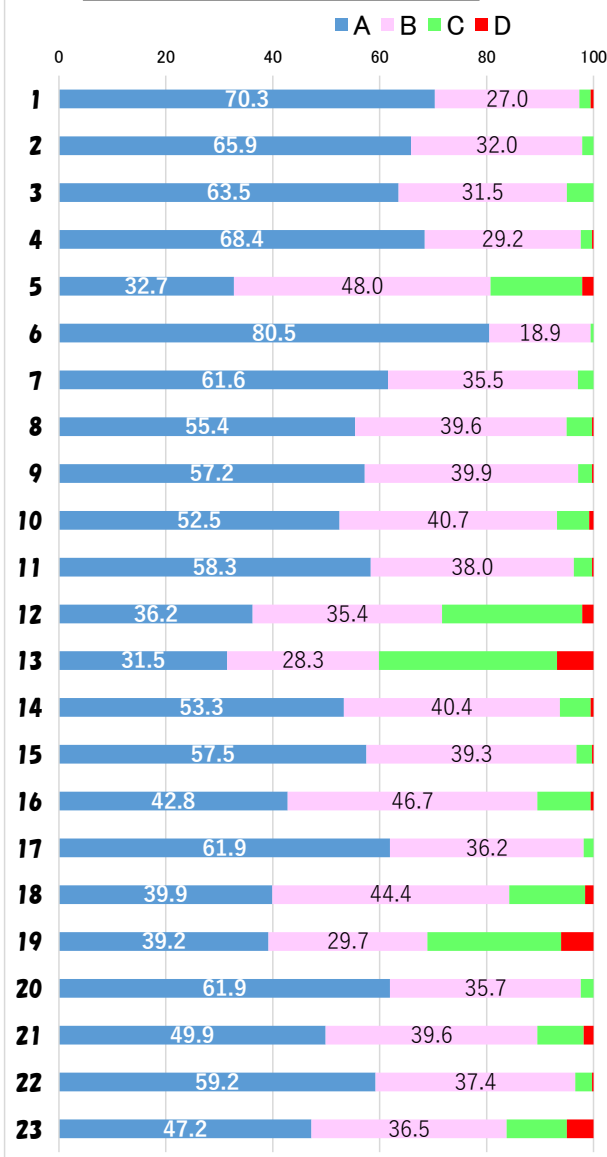
保護者（後期）

回答数

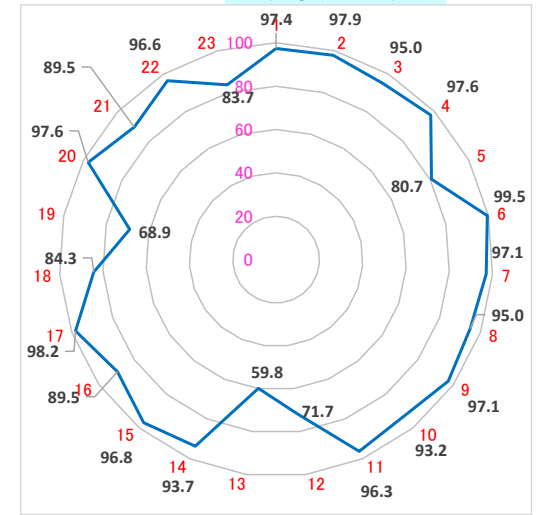
381

A=そう思う B=まあまあ そう思う C=あまり そう思わない D=そう 思わない						%	達成率
番号	アンケート質問内容	A	B	C	D	(A+B)	(A+B)
1	我が子は、楽しく学校生活を送っている。	70.3	27.0	2.1	0.5	97.4	97.4
2	学校は、思いやりの心や周囲と仲よくしようとする態度を育てようとしている。	65.9	32.0	2.1	0.0	97.9	97.9
3	学校は、下級生の面倒を見たり、上級生に学んだりするように教えている。	63.5	31.5	5.0	0.0	95.0	95.0
4	学校は、ルールやきまりの大切さを考えさせ、規律正しくできるように教えている。	68.4	29.2	2.1	0.3	97.6	97.6
5	我が子は、時や場に応じたあいさつがしっかりできる。 (あいさつ)	32.7	48.0	17.2	2.1	80.7	80.7
6	我が子は、良いところがあると思う。	80.5	18.9	0.5	0.0	99.5	99.5
7	塩川小学校は、さわやかで すてきな校風の学校である。	61.6	35.5	2.9	0.0	97.1	97.1
8	学校は、住んでいる地域を愛するように教えている。	55.4	39.6	4.7	0.3	95.0	95.0
9	学校は、子どものことについて相談できる体制を整備し、適切に対応している。	57.2	39.9	2.6	0.3	97.1	97.1
10	学校は、わかりやすく勉強を教えている。(子どもは授業がわかりやすいと言っている)	52.5	40.7	6.0	0.8	93.2	93.2
11	学校は、考えや思いを発表できる子を育てている。 (発表)	58.3	38.0	3.4	0.3	96.3	96.3
12	我が子は、家庭学習の習慣（10分×学年＋10分）が身についている。	36.2	35.4	26.2	2.1	71.7	71.7
13	我が子は、家庭で読書に取り組んでいる。	31.5	28.3	33.3	6.8	59.8	59.8
14	学校は、体力づくりに取り組んでいる。	53.3	40.4	5.8	0.5	93.7	93.7
15	学校は、目標を持って、最後までやり遂げることを教えている。(目標)	57.5	39.3	2.9	0.3	96.8	96.8
16	学校は、将来の夢や目標が持てるように教えている。	42.8	46.7	10.0	0.5	89.5	89.5
17	学校は、安全で健康的な生活が送れるように教えている。	61.9	36.2	1.8	0.0	98.2	98.2
18	我が子は、食事や睡眠など規則正しい生活を送っている。(早寝、早起き、朝ご飯、朝排便)	39.9	44.4	14.2	1.6	84.3	84.3
19	我が子は、ゲーム、スマートフォンの終了時刻20:00の約束を守っている。	39.2	29.7	25.0	6.1	68.9	68.9
20	学校は、保護者会やお便り・教育ポータルサイト等で、学校の方針や様子をよく伝えている。	61.9	35.7	2.4	0.0	97.6	97.6
21	自分は、参観日などの学校行事やPTA活動などに積極的に参加している。	49.9	39.6	8.7	1.8	89.5	89.5
22	学校は、保護者や地域と連携・協働して子どもの教育にあたったている。	59.2	37.4	3.2	0.3	96.6	96.6
23	喜多方市人づくりの指針・児童生徒がめざす姿「なかよくたくましく生きる」を知っている。	47.2	36.5	11.3	5.0	83.7	83.7

令和3年度 学校評価アンケート 保護者(後期)グラフ



達成率(A+B)



分析

ほとんどの項目において、前期の達成率と比べ大きな変化が見られなかった。
 23項目中15項目が90%を超えており、学校に関する内容についてはほぼ高い評価をいただいている。残りの8項目を見ても、20項目で80%以上であることから、保護者の方には学校の取り組みに関してよい評価をいただいていることが分かる。
 8割を下回る項目は
 No.12 家庭学習の習慣(71.7%)
 No.13 家庭での読書(59.8%)
 No.19 家庭でのゲーム等の終了時刻(68.9%)
 の3項目だが、児童の評価は
 No.12 88.7%
 No.13 79.8%
 No.19 80.9%
 と保護者とずれがある。子どもの実際と親の期待値の差がこのずれなのかもしれない。
 一番達成率の低い家庭での読書だが、本校は司書と司書教諭が様々な取り組みを行っており、本の貸出冊数は決して少ないわけではない。家庭ではそれだけゲームやテレビに費やす時間が多いと予想できるため、メディアについての有害性などをさらに保護者に発信していく必要がある。
 No.5「あいさつ」は児童の達成率が92.1に対して保護者は80.7と低い。また、No.6「自己肯定感」は児童85.5に対し、保護者は96.3と開きが見られる。このような差をなくす取り組みが今後必要となってくると思われる。